

# 人口・産業・交通・生活からみた小規模・散在集落の特徴 Characteristics of small-scale and scattered community from viewpoints of population, transportation, and life

○高橋順二\*・齋藤信也\*\*・石川敬義\*\*

○TAKAHASHI Jyunji, SAITO Shinya and ISHIKAWA Keigi

## 1. はじめに

少子・高齢化、人口減少社会が到来するなかで、農村を中心とする地域の再生が重要な課題となっており、集落の分散性、人口の希薄性といった農村の立地条件に応じた対策を講じていく必要がある。そこで、小規模でかつ散在する集落の特徴を人口、産業、交通、生活に分けて整理するとともに、集落対策の基本単位である市町村に関して、このような集落が多い所とそうでない所の特徴を把握することは、どのような所にいかなる対策を講じるのが有効かなどの判断資料のひとつになり得るものと考えられる。本報では、入手可能な一般的・汎用的なデータやGIS等を活用してこれらの検討を行ったので分析結果を報告する。

## 2. 対象地域の概要と方法

全国でも高齢化率が高く昇順で5指に入る山形県、高知県、鹿児島県に加え、富山県の4県を対象として、国勢調査の1kmメッシュ人口データとメッシュ間の隣接関係から、GISソフトを活用して「小規模・散在集落」（大字単位、人口100人未満のメッシュの割合が50%以上90%未満のランク1の集落と90%以上のランク2の集落の総称）とそれ以外の集落（ランク0）を抽出した。次に集落ランクごと及びこれら集落が属する市町村ごとに、人口、産業、交通（交流）、生活に関する数値指標を、メッシュ単位のデータ（国勢調査人口、事業所統計の就業者数等）や地域の中心市への時間距離などを用いて特徴（相違）を求め、考察を行った。

## 3. 結果と考察

- (1) 小規模・散在集落は、そうでない集落に比べ、人口減少率や高齢者人口率が大きく（図-1）、若年層人口率（15～34歳）が小さい。
- (2) 特に散在性の強いランク2の集落では、若年層人口率や他市町村就業者比率等が小さい。また、農業、建設業の就業者比率が大きく、これら産業への依存度が高いとみられる。また、ランク2はランク1の集落に比べ、30分交通時間圏（車による一般道利用、以下「時間圏」という）の事業所就業者数や60分時間圏の救急病院病床数が少なく、中心市までの時間距離が大きいなど、生活の質に影響を及ぼす指標が劣位にある（図-2）。
- (3) 4県においては、市町村全体に占める小規模・散在集落の人口が多い市町村ほど、高齢者人口率が高く、人口減少率が大きい。また、市町村の財政力が脆弱かつ人件費/市町村税収の割合が大きい、中心市までの時間距離が大きい（鹿児島県を除く）などの特徴がみられた（表-1）。
- (4) 山形、富山、高知では全県の人口、事業所就業者数等の85%～90%以上が中心市から30分時間圏内に集中している。また、例えば、山形

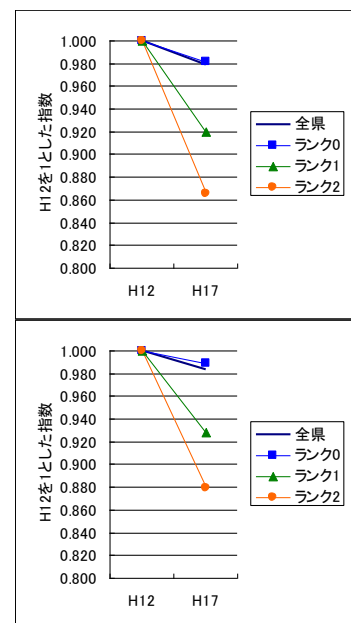


図-1 集落ランク別の人口推移  
(上は山形県、下は鹿児島県)  
Change of population in the classified community

\* (独)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 National Institute for Rural Engineering.

\*\* 荘銀総合研究所 The Shogin Future-Sight Institute, ltd. キーワード: 人口減少・高齢化、地域活力、交通時間圏

県においては、小規模・散在集落の30分時間圏内の事業所従業員数は中心市までの時間距離が大きいほど少なくなり、就業機会が減少する(図-3)。一方、産業付加価値額の必要所得(家計調査の実収入額から算定)に対する充足率が小さい市町村ほど人口減少率が大きくなることから、地域活力の維持のためには、農家等の雇用・所得確保のための取組が重要な課題となる。

#### 4. おわりに

都市と地方の経済や所得格差、地方の疲弊など地域の活力の再生・振興にとって多くの課題を抱えているが、一言で地域(集落、市町村等)と言っても、その実相は多様であり問題の把握や対処の方法も異なってくるものと考えられる。この観点から、人口、産業、生活等に関する課題について、入手可能なデータ、指標を活用した構造的要因の把握、モニタリング、対策をセットとした取組、とりわけ農業及びこれと結び付きの強い食料品・飲料製造業等は、地域経済の基盤となっており地域固有の資源を活用した農業分野における取組の強化が重要である。

表-1 市町村人口に占める小規模・散在集落の割合と産業等の指標の相関係数

Correlation coefficients between population ratio of small-scale/scattered community and various indexes

	山形県	富山県	高知県	鹿児島県		
人口	H17人口	-0.315	-0.179	-0.275	-0.201	
	H17高齢者人口率	0.495	0.736	0.695	0.389	
	H17生産年齢人口率	-0.489	-0.760	-0.715	-0.501	
	H12~H17人口増減率	-0.520	-0.460	-0.501	-0.561	
	H17一世帯当たり人数	0.244	0.377	-0.666	-0.815	
	H17可住地人口密度	-0.466	-0.487	-0.449	-0.320	
	H17従属人口指数	0.492	0.767	0.704	0.525	
産業	一人当たり農業産出額	0.090	0.331	-0.269	-0.087	
	一人当たり製造品出荷額	-0.198	-0.431	-0.075	-0.379	
	1次産業就業者比率	0.155	0.330	0.296	0.133	
	2・3次産業就業者比率	-0.142	-0.318	-0.288	-0.127	
	総就業者数	-0.324	-0.181	-0.282	-0.203	
	若年就業者数	-0.319	-0.195	-0.267	-0.186	
	事業所従業員数	-0.302	-0.192	-0.247	-0.188	
	事業所従業員数増減率	-0.448	-0.382	-0.385	0.385	
	生活	H18財政力指数	-0.520	-0.687	-0.620	-0.598
		一人当たり市町村税収	-0.386	-0.509	-0.013	-0.108
市町村税収/歳出額		-0.503	-0.734	-0.659	-0.576	
人件費/市町村税収		0.511	0.815	0.649	0.674	
人口千人当たり医師数		-0.276	0.098	-0.324	-0.423	
人口千人当たり病床数		-0.237	-0.215	0.109	-0.585	
下水道普及率		-0.481	-0.197	-0.234	-0.314	
交通	住宅地平均地価	-0.448	-0.269	-0.447	-0.292	
	中心市までの時間距離	0.662	0.427	0.797	0.113	
	他市町村就業者率	-0.095	-0.136	-0.572	-0.367	

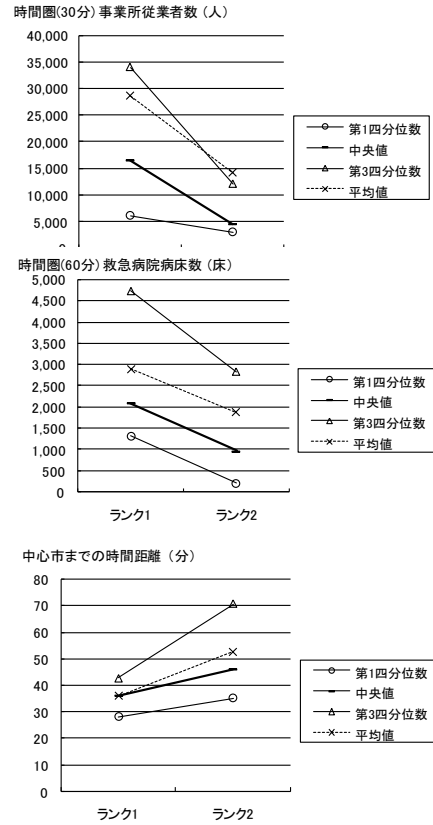


図-2 集落ランク別の生活に関連する指標(山形県)  
Indexes of life in the classified community

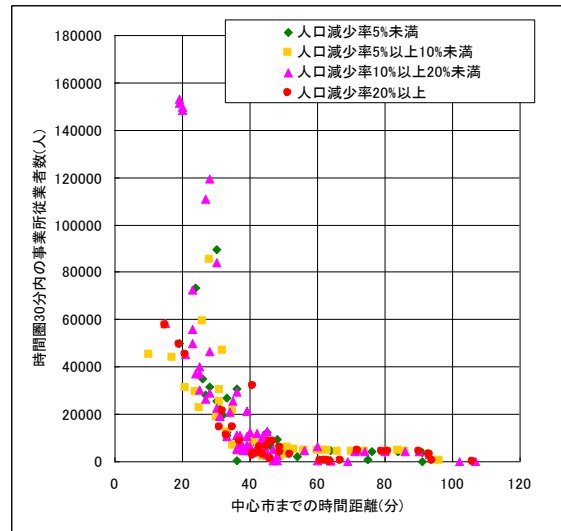


図-3 集落の30分時間圏内の事業所従業員数と中心市までの時間距離の関係(山形県)  
Relationship between the number of workers and distance of time from the core city